

帰国研修員レポート

【帰国研修員の活動状況】



チリ大学 経済経営学部で実施中の企業専門家の教育
2015/5 月～2015/10 月に参加の学生(32 名)

- 1) 報告者 : コースリーダー 宮本 正
- 2) 現地レポート : Mr. Jose Miguel Santana Villagra
(チリ帰国研修員)

2015年8月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

JICA/KITA 技術研修に参加したホセさん（チリ帰国研修員）から 現地活動状況の便りが届きました

今回、ご紹介する帰国研修員便りは、平成20年度の「南米地域 生産性向上実践技術」に参加されたホセさんから2回目の活動報告です。技術研修コースを担当された宮本コースリーダーより彼の活動についてご紹介して頂きます。

1. 今回レポートされた帰国研修員の紹介

名前 (通称)	写真	氏名	国名	JICA受入れ研修 修期間
ホセさん		Mr. Jose Miguel Santana	チリ	2008年10月6日 ～2009年2月8日

研修コース名：「南米地域 生産性向上実践技術」



講義終了後の記念撮影（2009年10月）

交流を深めている帰国研修員(南米)の皆さん

研修年度	H 1 9 年度	H 2 0 年度	H 2 1 年度	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度
国	アルゼンチン	チリ	チリ	チリ	アルゼンチン	チリ
研修員	ナンシー	ホセ	フェリペ	クリスティアン	カロニア	エクトル
国	チリ	チリ	チリ	アルゼンチン	チリ	チリ
研修員	パブロ	カロニア	アグスティン	アグスティン	ルイス	ルイス
国	チリ	チリ	チリ	パラグアイ	チリ	チリ
研修員	セルヒオ	セルヒオ	セルヒオ	サムスラ	フランシスコ	フランシスコ
国	チリ	チリ	チリ	エクアドル	エクアドル	エクアドル
研修員	フェルナンド	フェルナンド	フェルナンド	ダリオ	ダリオ	マリーナ
国				パラグアイ		
研修員				クリオ・セサル		

2. 宮本コースリーダーからメッセージ



ホセさんは、輸出品業界団体の教育部門責任者として J I C A 受け入れ研修に参加しました。研修中にカイゼン（改善）の普及計画を作り、駐日大使館へ説明に出向き支援を取り付けたり、積極的に活動されていました。政府・産業界・大学・コンサルタント団体をも巻き込み、アルゼンチン、ブラジルとも研修員仲間を通じてコンファレンスを開催するまで育てています。

“今井さんグループ”とも連絡を取って活動を広げて欲しいと思います。主人公はチリの産業界であり国民そのものです。彼が覚えて帰国した「I p p o、I p p o」着実に歩を進めれば必ず頂上に辿り着くことを信念に進んで欲しいと期待しています。

彼の活動内容を紹介しますと、カイゼン（改善）推進協議会を作ってセミナーや大学の講座などで普及活動を行っています。推進協議会の構成は、政府中小企業支援センター、大学、I E 協会、コンサルタント集団、業界団体です。アルゼンチンやブラジルも加えた国際シンポジウムも行い、カイゼン（改善）について今井氏やアルゼンチン・トヨタを招いて講演をして頂いたり、期待通りの活躍を実行しております。J I C A 研修の成果が着実に根付いています。

3. ホセさんからの便り



宮本先生へ

親愛なる宮本先生、お元気でご活躍のことと存じます。
ご家族の皆様もお元気で過ごしましょうか。

チリのサンティアゴは現在秋です。普通は梅雨の時期なのですが、今年始めの雨量は少なかったです。今年はエルニーニョ現象が起きる年なので、海水の温度は上がり、年中雨が多い予想です。雨が集中的に降ると予想されているので、いろいろな問題が起きます。こちらチリは、今は太陽が出ていますが、気温は低いです。
、2014～2015 年の 2 年間で我々が行なった活動について下記に状況をご報告します。

現地活動状況について

先生の教えに従って、「リーン改善(ムダの除去)」の考えと導入について、他の人々や企業に知識と経験を教授しました。

1) 専門家への指導 (エンジニア、管理者、様々な分野の企業の専門家)

オペレーショナル・エクセレンスのマネジメント学位(120 時間)

チリ大学経済学部(経済経営学部)の学生 23 名が、2014 年の 10 月から 2015 年の 4 月の教科を修了しました。2015 年の前期(当該学位の第2版)では 32 名の学生が 5 月から学んでおり、10 月に終了する予定です。



2014/10 月～2015/5 月に参加した学生(23 名)
チリ大学 経済経営学部



2015/5 月～2015/10 月に参加の学生(32 名)
チリ大学 経済経営学部

講義カリキュラム(10 教科)

- コース 1: リーン 運営向上—カイゼンへの入門
- コース 2: 組織文化
- コース 3: 経営と工程改善
- コース 4: 問題解決
- コース 5: 7つの無駄と8つ目のムダの管理
- コース 6: 5S 方式
- コース 7: 自己解決技法 EARP(小集団改善活動)
- コース 8: リーダーシップとコミュニケーション
- コース 9: PME—集中改善プログラムのアクションプラン技法
- コース 10: 企業訪問



2) 企業から依頼された戦略的な組織運営のための5S、SMED 方法論、解決技法などの研修

3) 継続的发展とリーン改善(トヨタ方式)のための企業内の推進

2012 年に今井正明氏が設立した「カイゼン・インスティテュート(本部はチューリッヒ)」の支社がここチリに設置されました。2007 年から 2009 年にかけて、先生でありまた JICA シニア・ボランティアであった木村さんと我々のはじめた活動や 2008 年から 2009 年の間に KITA の研修で学んだ全てのことをこのインスティテュートでも取り扱っています。

残念なことに「カイゼン・インスティテュート」は、商標として登録されており、「カイゼン」という言葉はチリでは一般語として使われておらず、彼らだけしか使えません。彼等の哲学によると、経営戦略とその手法は、継続的な現場改善活動と協調してさらに加速することで力を発揮し組織の中で支持されるとしています。

このような困難と障壁にも関わらず、我々は日本でできた言葉「カイゼン」を使っています。社会の発展を促進する組織やチリ企業のために我々は今後とも努力を続けます。

2011、2012、2013 年に引き続き、第四回チリ国際改善セミナーを実施予定です。

宮本先生もこちらにいらしてください。そして企業訪問をし、おいしいチリワインを共に飲み、語りあきましょう。アドバイスや知恵をいただきたいものです。

先生の全ての講義は、間違いなく我々が定期的に報告しているコンサル業務や学生への教授に、大変役に立っています。

帰国後にもご経験、知識や知恵をご教授いただきありがとうございます。

◆ 改善を積極的に推進している「エピサバス」の紹介

1. エピサバスはバスの販売業者で、チリの全国規模の輸送サービスを提供しています。
2. エピサバスは国内市場の 30%を占めています。
3. エピサバスはブラジルのバス製造会社”マルコポーロ”のマークを表示しています。
4. マルコポーロはバスの車体を製造するブラジルの会社で、メルセデス・ベンツ、スカニア、ボルボのシャシとエンジンを使用しています。
5. エピサバスはバスのメンテナンス、修理サービスも行っています。
これらの修理は、マルコポーロという商標を受けた顧客であるバス会社からの大小の修理のリクエストを、保険会社を通じて受け、それらの修理要請に応じています。
6. 管理サービス会社のデサボラドラスは、塗装と修理を行っています。
90 人以上の従業員（技術者、オペレーター）を抱え、“セルヴィバス”と呼ばれ、一年前に設立されました。
7. エピサバスは 70 人以上の従業員を雇用しようとしています。
8. 国中に展開しており、地方に工場があります。国内に8つ以上のサービスエリアがあります。
9. 大企業は中国製のバスを輸入しており、製造業者は国産の車体と競合しています。
10. エピサバスのウェブアドレスは www.epysabuses.cl です。
11. エピサはエピサバスとセルヴィバスの親会社です。売買やサービスをサポートしています。部品（エピサ付属品）と装備・アクセサリ品、貨物輸送（エピサチームとエピササービス）などの関連会社があります。

我々は、リーン改善の気風を造り、自主的な課題解決チーム「EARP」を編成しました。（機械を操作する小グループ活動など） 経営レベルの業務改善計画を考案したことに加え、PME に焦点を合わせた改善計画を進めるために本部で活動しました。（3, 4か月で実行可能な本部レベルの改善計画を策定しました）

また定期的に我々が行っていることや進展したことについてご報告します。
継続的なご支援・ご教授本当にありがとうございます。

ありがとう、宮本先生。

ホセ・ミゲル・サンタナ



ホセさんの活動レポート（抜粋）です。
（スペイン語）

4. 受入研修期間中の写真集

JICA-KITA研修コースの写真集

(2008年10月6日～2009年2月8日)



講義終了後の記念写真

食品工場の設備見学



“田ロメソッド” 実習中の研修員



食品工場の設備見学



“Q C ストーリー” の学習



小集団活動の事例見学



展示会見学

以上





Área de servicios de lavado**Elementos necesarios e innecesarios.
Desperdicios y focos de suciedad**

Comité Directivo En Genba

EPYSA BUSES



Christian Luis Matías Pedro
Joaquín Pablo Jaime Matías

"Con Entusiasmo y Convicción nos Comprometemos con el Cambio"



ServiBus

TELEVISION

Equipo Táctico
Entrenamiento para Planes de Acción de Mejoras

EPYSA BUSES



Equipos Autónomos de Resolución de Problemas, EARP Operativos
Entrenamiento para Implementación de Metodología de 5'S



LOS CREATIVOS

*"Diseñando y pintando logramos calidad,
 este es nuestro compromiso"*



LOS INDESTRUCTIBLES

*"Con Esfuerzo y Dedicación, Lograremos la
 Perfección"*



THE STORAGE

"Eficiencia sin limites"

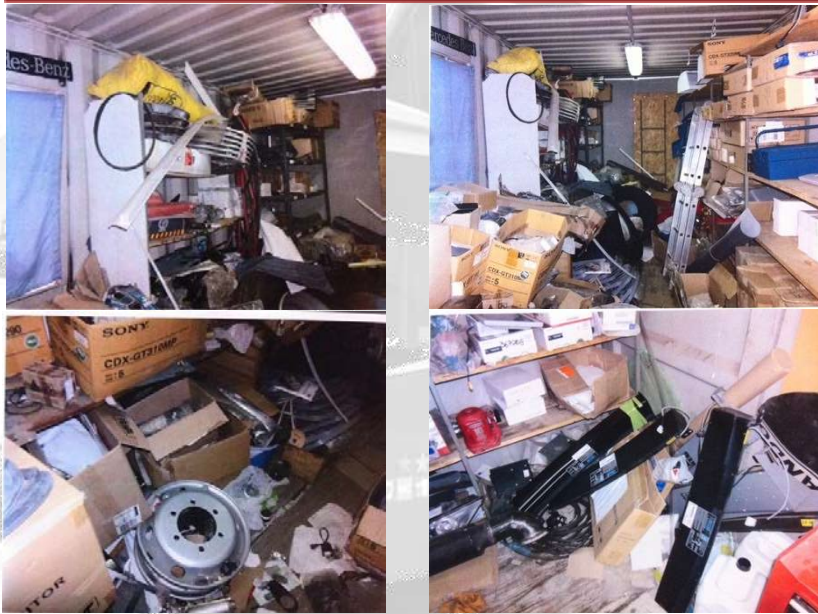


***Aprendiendo, Practicando y
 haciéndolo propio el P3E***

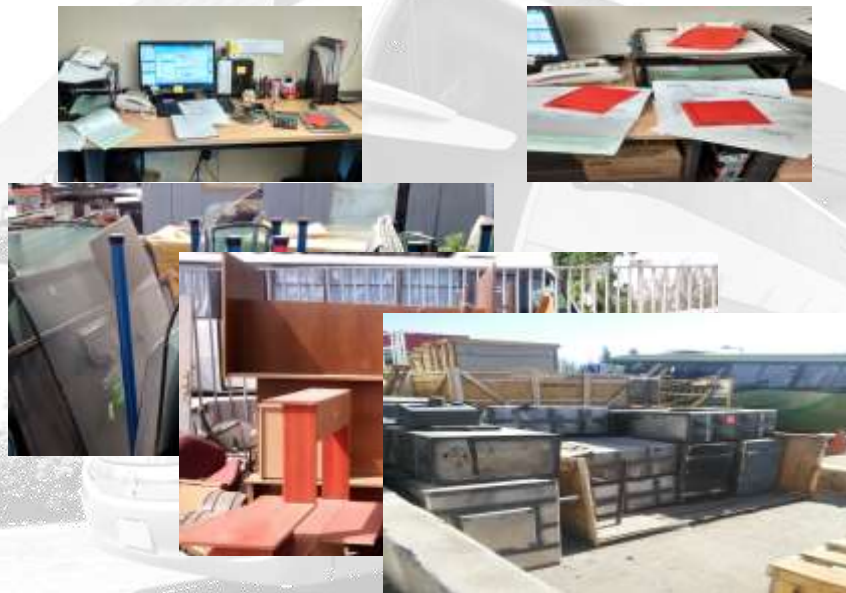
Construyendo el P3E



**Mirando, Viendo y Observando nuestra realidad
Aprender a ser Consciente de lo Nuestro**



**En Terreno – En Genba
Aplicando Tarjetas Rojas para Seleccionar y Descartar**





También Limpiamos los Lugares de Difícil Acceso



ServiBus
EPYSA







クリックすれば、元の画面
へ戻ります。